安威川ダム　第６９回岩盤判定会議　議事要旨

日　　時：令和元年7月4日（木）　１４：００～１５：２０
場　　所：安威川ダムJV事務所　会議室
出 席 者：別紙「出席者一覧」のとおり
資　　料：第６９回 岩盤判定会議資料 (別冊資料含む)
検査対象：＜地盤検査＞
　　ロック敷き 右岸上流部　　：No.3+16～No.6+18、DC-55～DC-103

主な指摘事項（地盤検査の記録に掲載するもの）

（ロック敷き右岸上流部）
- No.3+１８付近、DC-100 付近凹部内に凸状の岩盤が残っている。浮石であれば除去すること。浮石でなければ、細粒ロック材を用いて密実に充填すること。
- 検査範囲全般的に風化作用を受けやすい岩盤であるため、風化した部分は盛土前に改めて清掃を行うこと。

概　　要

〇前回議事要旨および是正報告資料に関する指摘事項
- 特になし。

〇資料に関する指摘事項
- No.4+５付近、DC-100～DC-95 付近、断層沿いに CLl 級が図示されているが、現地確認の結果、資料のような幅で CLl 級岩盤が分布していなかったので、当該部分の CLl 級岩盤については、CLh 級岩盤に改めること。

〇現場における指摘・是正事項

（ロック敷き右岸上流部）
- No.3+１８付近、DC-100 付近凹部内に凸状の岩盤が残っている。浮石であれば除去すること。浮石でなければ、細粒ロック材を用いて密実に充填すること。
- No.5、DC-88 付近、低標高部でオーバーハングとなった箇所が見られた。盛立の支障とならないように除去すること。
- No.5+12～18、DC-65～70 の CLl 級岩盤付近で表面がマサ化した箇所が見られた。また、同箇所付近の高標高部で浮石が見られた。これらは盛立前に除去すること。
- No.6+10、DC-60 付近で表面は堅岩であるが、側面の露頭している部分で緩んだ箇所があった。除去した後、細粒ロック材等で適切に対応すること。

・検査範囲全般的に風化作用を受けやすい岩盤であるため、風化した部分は盛土前に改めて清掃を行うこと。

〇その他の意見
特になし。

＜地盤検査官のコメント＞
　前回の指摘事項については、写真等により是正状況の確認ができた。
　ただし、一部の写真が当初の是正報告資料についていなかったため資料として保管しておくこと。
　また、本日検査したロック敷き右岸上流部については、所定の岩盤であることを確認した。
　検査にて指摘した内容は、適切に対応すること。